

令和2年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【2年目】

P T A名	静岡県立沼津特別支援学校 P T A
学 校 名	静岡県立沼津特別支援学校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	240人

1. 使用状況

寄贈物品名	ボッチャセット
使用学年及び人数	全校児童生徒(240人)
使用頻度	月1～2回程度
使用状況	保健体育の授業「パラスポーツ体験」で取り組んだり、学校間交流の交流タイムで、一緒にボッチャ体験を行ったりした。また、学級活動のレクリエーションとして楽しむことができた。
物品の使用による変化や効果	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の中で取り組むことで、児童生徒にとって身近なスポーツになってきている。 ・レクリエーションの希望調査で、児童生徒から「ボッチャをしたい」という声が出てきたり、交流活動で、交流相手と自然な関わりを持ちながら楽しむことができている。
今後の活用の見通しや課題	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者全員が楽しんだり、友達や交流相手と自然な関わりを持てるため、今後も授業や交流活動で積極的にボッチャを取り入れる。 ・生涯スポーツのひとつとなるよう、引き続き小学部から高等部の教育活動の中でボッチャに取り組んでいく。
その他希望や所感など	

2. 活用の様子

学級作り、学年レクリエーションとして実施。



学校間交流で実施



ルールも生徒が交流相手に説明



ボールをよく見て投げたり、力の加減をして投げたりするなど、回数を重ねることで上手になっている。